

第167回 医療情報システム研究会 看護業務を支援する情報システム パート29

看護業務と看護の質を測る ～看護必要度とDiNQL徹底討論～

開催概要

2016年2月6日(土) 10:00～16:30

富士通関西システムラボラトリ (JR、京阪 京橋駅より徒歩6分)

〒540-8514 大阪府中央区城見2-2-6

■参加費 : 4,000円 (資料集代含む)

■参加定員 : 200名 (先着順)

医療情報技師更新対象研究会

1ポイント(予定)

プログラム

※プログラムは都合により変更となる場合があります
※詳細なご案内は12月中頃を予定しています

I. トピックス「今年のお話3選」

- ・医療とマイナンバー・医療等ID
- ・情報流出を防げ！事例から学ぶ標的型攻撃メールからの身の守り方
- ・看護情報の入力支援 ～デバイスのあり方と地域支援への展開～

II. システムによって同じ？違うの？この機能 第四弾「看護必要度」

- ・看護必要度について、ベンダー間の違いを利用者からの報告により考察
- ・看護必要度への期待
- ・徹底討論

III. 「DiNQLを活用していますか？活用しませんか？」

- ・「DiNQL」概要について
- ・先行取組み病院からの事例2件
(システム面活用事例／組織体制面の取組み事例)
- ・システムベンダーの取組み
- ・徹底討論



【主催】医療情報システム研究会

プログラム委員長 美代賢吾

国立国際医療研究センター 医療情報管理部門長

【問い合わせ】医療情報システム研究会事務局
(富士通株式会社 高木、國定(くにさだ))

contact-hug@cs.jp.fujitsu.com
06-6920-5629